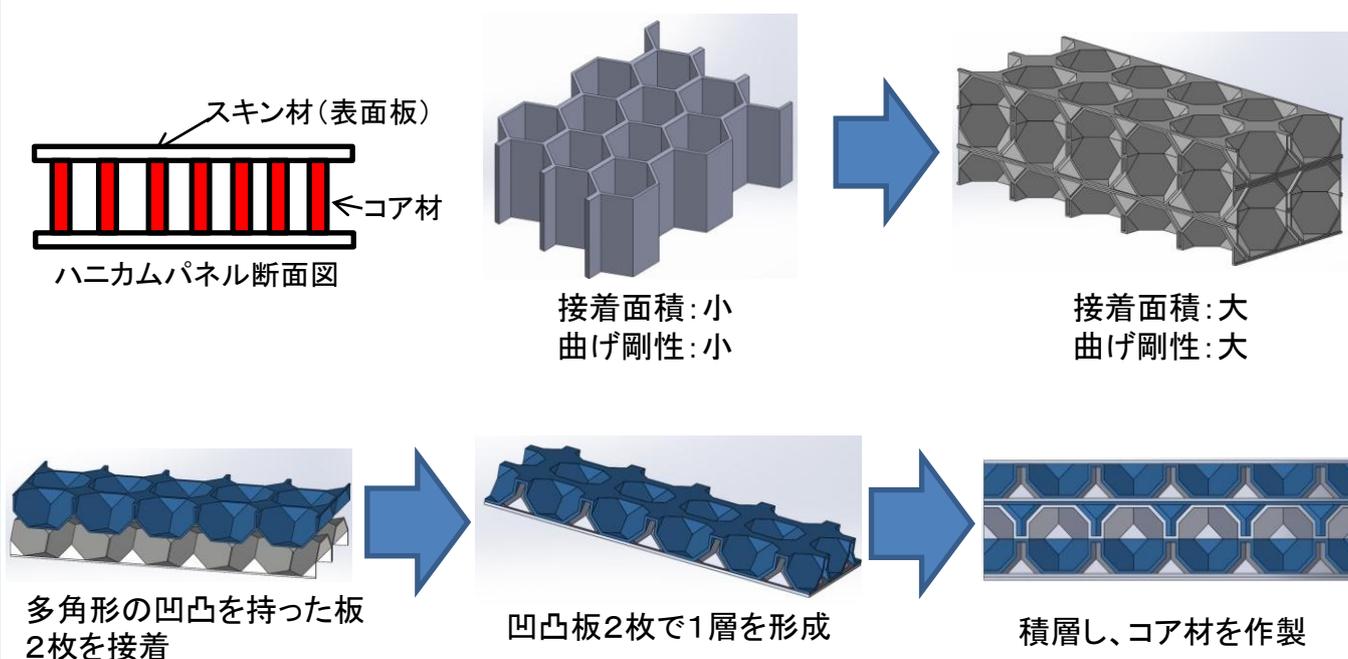


高剛性サンドイッチコア材

ハニカムよりもサンドイッチパネルのスキン材と剥離しにくく、曲げ剛性の高いサンドイッチコア材を開発しました。

本技術の内容・特徴

ハニカムパネルは曲げが作用した場合に、表面に接着した板(スキン材)と内部のコア材が剥離しやすいという欠点があります。スキン材が剥離すると強度が極端に低下します。本研究ではコア材の形状を検討し、スキン材と剥離しにくく、曲げ剛性の高いコア材を開発しました。



従来技術に比べての優位性

- ①ハニカムよりも接着面積が広く、面で接着するため剥離しにくい
- ②ハニカムパネルと比較して、サンドイッチコア材の曲げ剛性が高い

予想される効果・応用分野

- ①曲げ剛性が高く、ハニカムより剥離しにくいサンドイッチ構造として工業製品への適用を提案

提供できる支援方法

- ▶ 共同研究
- ▶ 特許利用 (製品化・技術活用)

知財関連の状況、文献・資料

- ▶ 知財関連
特許出願中

▶ 文献資料

[1] 高橋 他, 都産技研研究報告, No. 9, p. 42-45 (2014)

<http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/houkoku/h26/documents/r2611.pdf>

[2] 高橋 他, 平成26年度都産技研研究成果発表会要旨集, p. 34

http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h26_youshi/documents/mono1_04.pdf